

輪島市復興まちづくり計画策定に係る住民懇談会（本郷・門前・浦上・七浦地区）
結果概要

日 時 令和6年11月2日(土) 10:00～11:30

場 所 門前会館 3Fホール

出席者 住 民：48名

行政側：輪島市 坂口市長、中山副市長、小川教育長、中村門前総合支所長、中前
総務部長、山本企画振興部長、池腰市民生活部長、刀祢健康福祉部長、永
井産業部長、福尾建設部長、田川建設部技監、木下教育部長、上畠まちづ
くり推進課長

事務局：田中復興推進課長、一本松主幹

① 市長挨拶

（坂口市長）

- 本日も雨のなかに関わらずお集まり頂き感謝する。去る9月21日の大雨は観測史上最大の121mm/hとなった。一般的に20mm/hを越える雨で災害レベルと言われるが、それを遙かに超える降雨であり、皆さんには二度にわたる災害で大変な思いをされていると思う。
- 本日は宮下県議及び各市議も来られている。ありがとうございます。
- 輪島市復興まちづくり計画については、検討委員会を5月以降これまで5回開催しているところであるが、今後、12月に計画のとりまとめを予定している。本日は皆様から色々な意見を頂戴したい。

② 復興まちづくり計画の基本構想（案）等の説明

（市長より資料に沿って説明）

③ 意見交換・質疑応答

住 民：市職員自身も被災している中で尽力されていることには感謝したい。本郷地区でも（主）穴水門前線や市道の段差解消など尽力頂き感謝する。①p5の地域コミュニティ再建について、本郷公民館は被災して使用不能の状況となっているが、公民館は地域コミュニティとして大事な施設である。公民館の再建について検討状況を御教示頂きたい。

市 長：公民館は地域の拠り所として重要である。担当より説明させる。

木下教育部長：公民館も各地域で被害を受けているが、本郷公民館は被害が大きい。国へ報告して災害査定を受ける準備をしている。災害復旧となると現状復旧が前提となるが、具体的な対応についてはもうしばらくお待ちいただきたい。

市 長：現状復旧の部分は国から出るが、今回の地震時の状況をふまえ、救援物資などを保管する部屋が必要となれば、増築が必要となる可能性もあり、より一層充実できる施設にしていく必要があると認識している。

住 民：本郷の仮設住宅に関して、駐車場が碎石のため除雪ができないので舗装してほしい。また、水はけが悪く、雨が降ると足首まで浸かってしまう仮設住宅があるので解消してほしい。

上島まちづくり推進課長：駐車場の水はけの状況を確認させていただく。足首までつかるところについてはすぐ対応したい。また、除雪の対応についても検討していく。

住 民：先ほど配布したプリントで6項目の提案をしている。

- ① 大雨に対する見舞金の検討を。
- ② 災害時に電波が届かない七浦公民館にWiFi機器の設置を。
- ③ 県道上田線の崩落箇所2箇所の安全対策を。
- ④ お小夜トンネルの改修工事について県から説明を受けたが、一日も早く通行できるように。
- ⑤ 職員の能力向上を進めてほしい。
- ⑥ 災害対応について職員が大変な苦勞をされていると思うが、今回の経験において職員に対してアンケートを配布し、良かったこと、やりとげられたこと、ルールの特素化に関する意見、市長や上長などをお願いしたいこと、悪かったことを箇条書きにして、コンサルにまとめてもらい、復興まちづくり計画に反映させてはどうか。すばらしいまちづくりになると思う。

市 長：① 大雨見舞金は義援金として頂いているものの配分を検討したい。
② 通信手段は衛星電話スターリンクで使えるようになる。七浦地区には必要と思う。
③ 県道については市からしっかり県をお願いしていく。
④ お小夜トンネルについては本来市が整備すべき箇所だが、県をお願いしていきたい。
⑤⑥職員教育について。17年前の能登半島地震に比べて市の職員数は半分ぐらいになっていて、その中でこの災害対応をしている。まずメンタル面で職員離職を防ぐためヒアリングを開始しようとしている。まだ離職の声もあり復旧・復興業務対応においても厳しい状況にある。アンケートを書ける人はいるが、書けない人もいる。ご提案は参考にさせていただくが、まずは応急復旧に向けて頑張っている。人数が少ない中で私自身も職員の状況に対してフォロー出来ない状況である。少し余裕が出てきたら振り返りに取り組みたい。

住 民：1-2での地域コミュニティの再構築、传统文化の継承に関係して。地域コミュニティもさることながら、もっと狭い在所レベルでの再構築をどう考えるか。館地区では若宮八幡神社が全壊しているが、神社再建についてはしなければと思いつつ大変なことだという思いもある。どう見通しをもって地域で話していけば良いか見解を伺いたい。あわせて、16日に御霊うつしを行うようだが、獅子頭が建物壊れたので移動させるべきところ、その場所がなく、文化課にお願いしてボランティアに運び出してもらったはいいが、最終的に小木の水産高校で保管という話になっている。輪島と違って門前は獅子舞文化であり、どこかでまとめて地区内で管理していただくようなシステムを考えてほしい。

市 長：在所コミュニティの拠点となる神社については復興基金から支援をすべく、県では神社・集会所へ最大1200万円、補助率3/4上限だが、市から上乗せして2000万円、

4/5上限を支援として出したいということを議会提案する予定。決まればそれを活用して欲しい。

木下教育部長：獅子頭については文化財レスキューで対応しているが、能登全体でかなりの被害が出ており、能登地域内で場所が確保できる安全な場所で保管させて頂いている。獅子頭、古文書、絵画など様々な文化財があり保管状況も様々なため、苦慮している状況である。今後、どのように保管していけばいいかについては、地域コミュニティの再生の中でまた支援制度で地区内施設が復旧できればというところ。

住 民：総合支所の3階は使えないのか？

市 長：役場の3階も候補の1つとしては思っている。ただし全部が全部は難しいかと思う。何とか検討していきたい。

住 民：地域を支える生業について、農業施設、農業機械の修繕に関する補助の申請をしたが、現在まだ決定がされていない。支援9/10という話をよく聞かすが、仮に1,000万円申請に対して900万ということではなく、1,000万円に消費税がかかった税込み1,100万に対して900万ではないかとの懸念がある。確認したい。

永井産業部長：220件の申請のうち支払済みは4件という状況であり今後進めていくので暫くお待ちいただきたい。ただ、補助対象が税抜金額となっており、制度上は実質200万円が負担ということにはなる。

中前総務部長：消費税分については申告すると農業事業者に対しては還付対象となるので税理士等に確認し、所要の手続きをとっていただければと思う。

住 民：税理士が門前地区にはいないので手続きを簡素化できないものか。消費税は個人に還付されないのではないのか？

市 長：事業をされている方であれば消費税申告をされているはずであるし、分からなければ市にご相談をしていただきたい。

住 民：白色事業者については、申告していないのではないのか？

中前総務部長：白色の方は申告していないが、補助金の制度としては消費税を含めた補助としてしまうと消費税の還付と二重に還付するとなるため、それはできない。

住 民：市で相談を受けられるようにしてほしい。

中前総務部長：国税であるので税務署で相談をしていただく方がより確実かと思うので是非、税務署にて相談いただきたい。

住 民：震災以降市民がどの程度減っているのか教えてほしい。まちづくり計画では盛りだくさんの事業内容のがまとめられてきており、重点プロジェクトも5点挙げられている。ただどれも抽象的な書き方なので、優先順位などももう少し明確にしたほうがよろしいかと思うが如何。

市 長：人口については震災以降1,800人が流出している状況である。復興まちづくり計画の重点プロジェクトについてはまだ最終バージョンではなく、優先順位や具体的な計画を検討委員会での議論を通じて作り上げていきたい。

住 民：門前地区に住んでいるが、発災以来再建を具体的に実感できたことはないのだが、近未来的に市民に目に見える形で、あれができたこれができた、というのをお示しいただくのが良い。例えば中屋トンネルの改築。輪島中心地にまっすぐ行けること

になると前向きになれる。また、穴水線で2ヵ所程度交互通行があるが、いつまで続くのか。これも解消できれば前向きになれる。

市長：復旧が遅く再建が実感できないということかと思う。ただ門前地区は他より早いことはご理解いただきたい。中屋トンネルは仮復旧での通行を始めようとしたところだがすぐに豪雨の土砂崩れでまたダメになった。復旧は権限代行で国土交通省が担当しているが、これだけ酷い大雨災害になり作業員が亡くなってしまった状況で、国土交通省も二度と労働災害がないように万全を期したいということで、慎重に工事を進めざるを得ない。まだいつまでかというと示されていないが、一日も早くということでは聞いている。穴水県道についても全国からの応援を得ながら直しているが、応急復旧までは何とかするが、災害査定を受けている最中で、本格的な復旧に向けては国県で協議しており、まだ明確な目処は出てきていない。まだまだ孤立地区は多数あるのが現状だが、そこは一日も早く開通できるように進めていきたい。

住民：復興に向けたシンボル・重点プロジェクトの件、先日朝市通りの再建に向けて記事が出ていたが、門前総持寺通り商店街でも解体が進んでいて焼け野原と同じ状況である。総持寺祖院が重要文化財指定された中、朝市周辺がシンボルというところに、せめて総持寺祖院の重文指定を受けたことも載せていただきたい。この資料は今後ずっと残っている中、朝市通りだけが重点プロジェクトになっていて、市長から付け足しのように総持寺祖院が重要文化財になりましたってことで表現がなされていない。是非載せていただきたいが、いかがか。

市長：先ほど説明させていただいたが、2-1に総持寺祖院を核とした生業再興を示している。一方、朝市通りは市全体の復興のシンボルとして進めたいという考え方であり位置づけている。他の地区においては詳細な事業を示しているわけではないが、個々の事業については進めていくことになる。計画は確定したものではないので、今後ご意見を踏まえて計画策定を進めていきたい。総持寺祖院を一番に書いて欲しいということだが、本日はまだ途中の段階であり、今後、最後のとりまとめにおいては総持寺祖院の重文指定も踏まえてしっかり明記していく。

住民：総持寺商店街復興プロジェクトとして出せないのか。

市長：朝市通り地区は被害も大きく、住民同市の会合も動き始めている。総持寺通りも動いていると承知しており、門前の顔は総持寺が顔なので市としても取り組んでいきたい。

住民：復興に向けて、黒島地区でかけられている建築規制の中身について、詳しい職員が門前総合支所にはいない。今後、復興が進んでいくと住宅新築が増えていくが、きちんと対応していただける職員の配置をお願いしたい。

市長：重伝建として指定されているのは黒島地区。門前地区総持寺通りは景観法に基づくまちなみ景観として規制がかかっているが、門前総合支所職員にもしっかりと勉強させる。

住民：小学校について、東西小学校が統合する予定と聞いている。校舎については使えない状況であり中学校の校舎を使っているが1つの教室を2つに区分して使用してい

る状況である。輪島は仮設校舎ができていますが、門前は教育環境が整っていない状況であり、門前の小学校校舎をどのように考えているのか、進捗も含めてお聞きしたい。

市長：門前東小学校は基礎杭の部分が割れているということがあった。門前西小学校も同様。学校統合については市からまだ正式情報は出しておらず、なぜあの内容での報道発表があったか不明だが外部有識者から漏れたのかもしれない。

小川教育長：小学校は校舎がどちらも使えない状況、また市内での新生児が年間60人という少子化の中で教育環境をどう整えていくかが課題ではある。単に数合わせではなく輪島の将来の教育をどうしていくかについて答申を頂き、その後教育委員会でしっかり検討していく。ただ、門前地区でも西・東でそれぞれ5人しかいない学年もある中、複式学級は避けられない状況である中、輪島市は県の特例で複式学級を解消している状況。水害に遭われた方向けの仮設住宅が必要となり、苦渋の決断だが小学校のグラウンドを使っている。仮設校舎確保については今しばらくは門前中学校で我慢してもらえないか、という状況である。

住民：公営住宅の整備について、地域にまとめて大きなものを建てる予定か、それとも地区に分散して立てる予定なのか。年寄りには慣れている地区内で住めるほうが安心する。

市長：災害公営住宅は1,200から1,400戸程度建設する予定だが、公営住宅として20年以上適切に管理しながら維持していく必要があり、例えば立地の良い県道沿いなどにまとまって建てる方が管理上望ましいと考えている。地区ごとに1戸ずつ建てて10年後空きになってしまうと維持管理ができない状況になる可能性があるため、地区ごとにニーズをまとめて、交通の便が良い立地に建てていく事が必要と考えている。極端な例として、集落のはずれに1戸だけ、みたいなことになった場合数十年にわたり公営住宅として維持できるか、という視点からも考えて整備しなければならない。地区ごとにある程度の個数をまとめながら利便性も考えて建設をしていきたい。リバースモーゲージといった自分の住宅を担保として住み続けるやり方もあるが、金融機関次第のところもある。公営住宅としては30～40年維持できる可能性を見込む中で建設していきたい。

上島まちづくり推進課長：公営住宅として維持管理をしなければならない。建設には国から3/4の補助があるが、市は1/4の負担が発生する。加えて家賃への助成も国から出ること、何とか輪島市の財政状況でも災害公営住宅を整備できる。ただ、その住宅が空き室だと補助が受けられず、満室になって初めて補助が出ることになる。仮に将来空き室になったとき次に入居いただけるようでないとは難しいことは理解してほしい。

住民：被災を受けた墓石についての助成を考えているのか、穴水は10万円と聞いている。少しでも支援があればありがたい。

市長：輪島市では墓石の支援はしないということにしている。穴水町は合葬墓を立てる予定だったが、被害が比較的少なく、公営墓地を建設するより個別支援が良いという判断。輪島は墓石までに支援を出してしまうと他の必要な支援が手薄になってしまう

う。個人の墓石に関する要望はあまり来ていない一方、共同墓地に入れてほしいという声はある。

住 民：地域コミュニティの再生につながる集会所の再建については今後議決を受けて支援が決まるとのことだが、詳細内容がこれまで分からずこれまで修繕を控えていた。具体的な支援策が分からない中で動き始めて良いのかどうか。

市 長：事前着手しても構わないが、市へ一度相談に来てほしい。補助に該当する施設なのか、金額面もどこまで助成できるかも確認してからにしてほしい。

住 民：安心安全なまちづくりに関して。酷い被害が発生した塚田川の件で国土交通省がドローンで周辺状況を調査するとの新聞記事があった。地区内にも土砂災害特別警戒地域に住む人は心配している。不安を抱えて生活している人が多いが、同様の条件の区域は広範囲にわたるため市による対応は難しいと思う。地域で山にのぼって調査をしたいと思ったがなかなか山に入れなかった。国交省で調査をお願いできないか、倒木処理についても国に求められないか。倒木処理も区が要請しても通らない。市としても国に対してドローン飛ばしてもらって二重災害が生じないように対応を進められないか。

市 長：土砂災害のご心配はごもっともである。市が対応できないところは県や国にお願いしており、今後もしっかり対応していきたい。

田川建設部技監：溪流、急傾斜区域は所管が市または県と分かれているが、それぞれ現地調査を行っており、危険箇所については何らかの対策を打つ方針である。土砂崩壊に伴う流木等も危険な状況ということであれば何らかの対策を打つことになるし、県を通じて国にお願いしていくことになるのでご理解いただきたい。

住 民：土砂災害の危険性がわからないし、管理者・窓口も市民にはなかなかわからないので、対応についてはよろしく願いたい。

田川建設部技監：門前支所地域整備課か土木課に確認いただければ、所管がわかるし、必要に応じて県などに状況共有する。

住 民：①地域コミュニティ再生に関する神社・集会所施設の再建への支援の進捗状況については、議決後に補助金の説明会や要綱を配るかして欲しい。各集落では神社、寺、集会所などがあり1度で申請できるのか個別に申請する必要があるのかも含めて説明いただきたい。②文化財レスキューについて、物品を預けたは良いが、それを取りに行くのに何の助成もないのは高齢者には厳しく、何らかの交通手段や運搬の助成があればありがたい。

市 長：①地域コミュニティの核となる集会所、神社仏閣の再建への支援については要件なども異なるため、個別に市へ相談いただきたい。

木下教育部長：②受取についてはご自身でという了解のもと預かっており、支援は難しい。ただそういった意見があることは留意する。

以 上

